

公 表 日

平成 2 9 年 1 0 月 5 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	河川構造物点検実習施設検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 島本 卓三 福岡県久留米市高野 1 丁目 3 - 1
契約年月日	平成 2 9 年 1 0 月 5 日
契約業者名	日本工営 (株)
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区東比恵 1 - 2 - 1 2
契 約 金 額	1 2, 3 7 6, 8 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	1 2, 3 7 6, 8 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	福岡県久留米市高野 1 丁目 3 番 1 号 九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	平成 2 9 年 1 0 月 6 日
履行期間 (至)	平成 3 0 年 3 月 2 3 日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 河川構造物点検実習施設検討業務
2. 履行場所 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 日本工営（株）
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、過去に発生した河川管理施設の不具合事例を収集、評価し、不具合を再現した実習施設の検討を行うもので、河川管理施設の維持管理技術の向上を目的とするものである。

2) 業務の内容

本業務は、不具合事例の収集、不具合事例の重要度評価、実習施設の検討及びVR装置の活用に関する検討を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

「配置予定技術者の資格及び実績」は優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的・条件・内容の理解度が高く、又「実施手順」における実施フローは妥当性が高く、工夫が図られていること、及び特定テーマの「VR装置の活用を検討する際の留意点」に対する技術提案については、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法が的確に整理され説得力があり、提案内容を裏付ける類似業務の明示など、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 防災・技術課長